

アグリ | ワーク | ポイント



農業経営支援課 石田 哲也

ウンカ類の発生について

近年、トビイロウンカを始めとするウンカ類により、坪枯れが発生しています。特に今年は管内の全地域で坪枯れが発生し、大きな被害をもたらしました。次期作に向けてウンカの特性を理解し、万全な対策をとりましょう。

坪枯れの原因となるトビイロウンカは、日本で越冬できず、梅雨時期に中国大陸から飛来します。水田に飛来したウンカ類は、世代を経るごとに爆発的に増殖し、集団で稲を吸汁します。ひどい場合には坪枯れを引き起こしますが、坪枯れにならなくても、ウンカ類が多発すると登熟歩合や千粒重の低下による減収、玄米外観品質の低下による検査等級への影響が懸念されます。

ウンカ類の防除について

ウンカ類の飛来が多い年は、世代の経過とともに発生密度が非常に高まり、害虫の成長段階も複雑になるため、本田防除のみでは十分な防除効果が得にくくなります。そのため、残効期間が長く、効果的な育苗箱施用剤を使い、発生初期から密度を抑制する必要があります。

本田防除では、粒剤に比べて液剤の方が効果的な薬剤が多く、素早く効果が得られるため、多発地域では液剤散布を心掛けてください。ウンカ類は稲の株元を好むため、薬剤が株元にムラなくかかるように、スズラン墳口や広角噴口等を使用し、丁寧に散布しましょう。

ウンカ類に効果的な薬剤

ウンカ類は毎年多発生するとは限りませんが、比較的発生が多い地域は、ウンカ類に対する防除を徹底し、万全な対策を行う必要があります。

今年多発したことを受け、『令和3年産水稻肥料農薬年特予約申込書』にウンカ類に効果的な薬剤を掲載することになりました。

〈育苗箱施用剤〉ウンカ類に対する残効は70〜80日程度
殺虫+殺菌剤

フルスロツトル箱粒剤・ブイゲットフェルテラチエスL粒剤
殺虫剤 フェルテラチエス箱粒剤

〈散布剤〉ウンカ類に対する残効は数日〜10日程度
殺虫剤 エミリアフロアブル（収穫7日前まで）

※登録作物が「稲」のみのため、散布の際はドリフトに注意しましょう。